

NPO法人牟岐キャリアサポート活動紹介

とくしまNPO・ボランティアシンポジウム

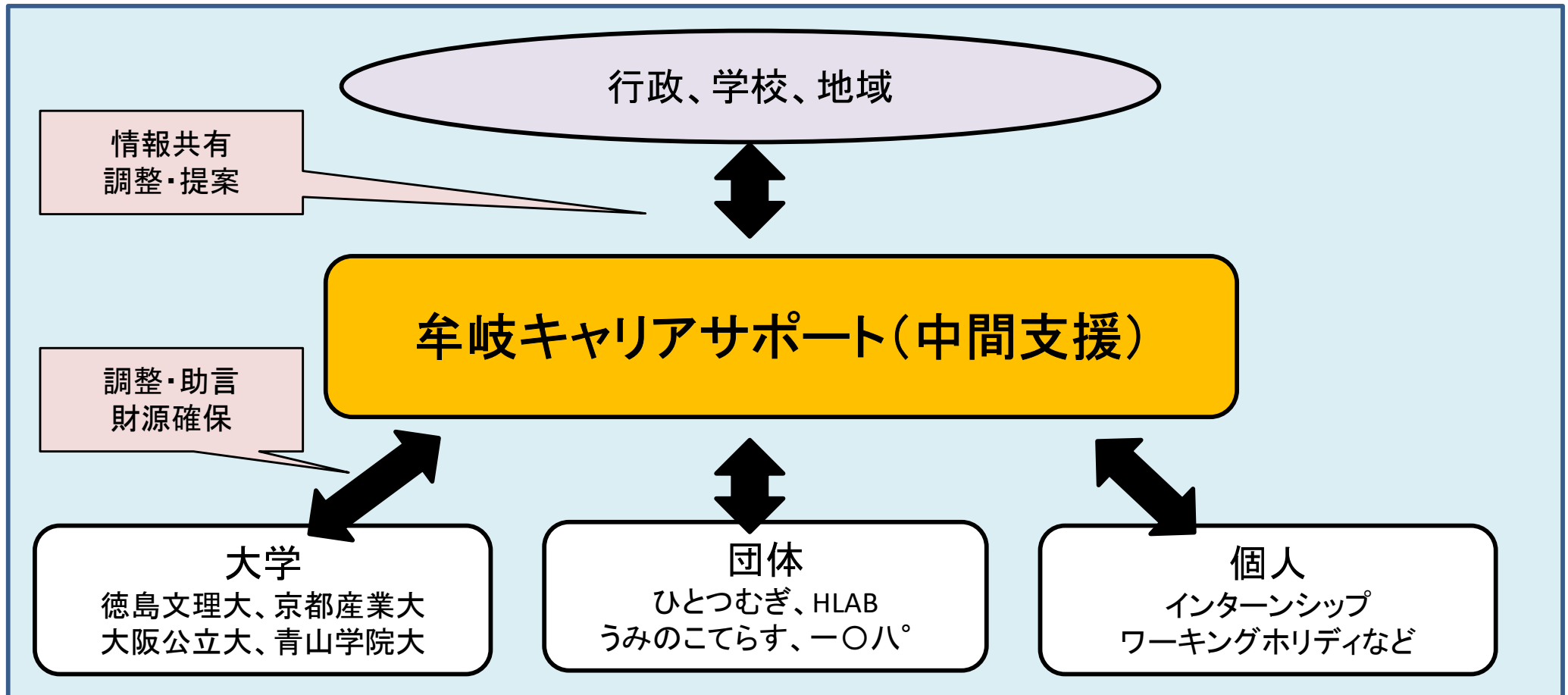
2024. 2. 3



NPO法人牟岐キャリアサポート 理事長 大西浩正

NPO法人牟岐キャリアサポートについて

牟岐キャリアサポートは、
大学生や若者と、行政、学校、地域の橋渡しを行う
「中間支援組織」として、2017年に誕生しました。



牟岐町・若者関係人口創出の歩み その1 (beforeコロナ)

HLAB TOKUSIMA サマースクール
牟岐町で開催



2014

NPO法人ひとつおぎ誕生、中学生対象
キャリア教育プログラム「シラタマ活動」開始



2015

ひとつおぎが総務省の
「子供若者白書」で紹介



2016

高校生対象「ローカルハイスクール」開始



2017

NPO法人牟岐キャリアサポート設立

シラタマ活動1期生
高校卒業



2019

牟岐町で活動する大学生延べ1000人を超える。
ひとつおぎを中心に大学生が地域行事に参加!



新型コロナ

牟岐町・若者関係人口創出の歩み その2 (with→afterコロナ)

牟岐町の新成人から
新たなプロジェクトが誕生



2020

コロナ禍で牟岐町での活動が困難になったことをチャンスに！
牟岐町の課題を大学所在地（都市部）で解決する
「デュアル・フィールド」のスキーム構築



京都産業大学（京都市）



大阪公立大学（大阪市）

2021

牟岐町出身・在住の若者が
共助組織「〇ハ」設立



コロナ禍

牟岐町で学生時代を過ごした
社会人の里帰りテレワーク
（里帰りワーケーション）の実施



コロナ禍でZ世代に生じた格差
解消を目指すSDGsスタディツアー
をHLABと共同開催



2022

牟岐キャリアサポート
ふるさとづくり大賞受賞



関係人口
故郷回帰

2023

子ども支援団体団体
うみのこてらす一般社団化



beforeコロナを越える大学生・若者が牟岐町に滞在・活動



牟岐中学校での牟岐みらい探究



ワーキングホリデイ事業着手

NPO法人牟岐キャリアサポートの事業内容

教育支援

NPO法人ひとつむぎ

- ・牟岐中学校での平和学習支援
- ・牟岐中学校「牟岐みらい探究」の運営
- ・牟岐小学校での防災学習支援
- ・徳島県青少年講座の運営



一般社団法人HLAB

- ・徳島SDGsスタディツアー企画運営
牟岐町・海陽町、上勝町の2か所で高校生・大学生計10名規模、1泊2日のプログラム
- ・東京下北沢のHLAB拠点でのイベント開催



大学ゼミ、実習支援×関係人口

徳島文理大学食物栄養学科もっちとむぎゅっとの会

- ・牟岐町産のモリンガ、もち麦などを使った健康でおいしいレシピづくり、商品開発。

京都産業大学現代社会学部木原ゼミ

- ・牟岐町と京都市西陣の2つのフィールドを結ぶ活動
- ・牟岐町の実生柚子などの産品と「100年フード（文化庁）」に着目した企画実施



大阪公立大学経済学部松本ゼミ

- ・大阪市に居ながら牟岐町を支援する関係人口がテーマ
- ・大阪市天神橋筋商店街で牟岐町と協働



青山学院大学コミュニティ人間科学部

- ・地域の課題解決に取り組む能力や経験を備えた、現場で生きる人材の育成を目的に、牟岐町で5日間の実習を実施

まちづくり支援

若者互助組織一〇八°

- ・牟岐町出身・在住の若者による互助組織
- ・各自が独立したまちづくりのプロジェクトを持ち相互に協力



SDGsハウスturn farm

- ・大学生・若者が古いプレハブをセルフ・リノベーション。
- ・子ども・若者が活動できる秘密基地を整備、運営



地域食と生物多様性に調査

- ・地域食の材料である農林水産物の変化から生物多様性について考える。

防災キャンプの企画運営(ゆめバンクとくしま助成)

- ・牟岐町防災サークルと連携して次世代の防災リーダー育成

子ども支援団体の経営体育成

子ども支援に取り組む団体「うみのこてらす」スタートアップ支援

- ・2020年 牟岐町出身の大学生からサードスペース開設の提案
- ・2021年 当法人内事業とスタート
- ・2023年 スタートアップ支援を完了し、サードスペース、子ども食堂等を自主運営、一般社団化

表彰等の実績

- 令和3年度 徳島NPO賞きらめき賞(徳島県)
- 令和4年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞
振興奨励賞(公益財団法人あしたの日本を創る協会、NHK、読売新聞東京本社)
- 令和4年度 ふるさとづくり大賞 総務大臣団体表彰(総務省)



現在の取組1 NPO法人ひとつむぎの教育支援

コロナ以前は、社会教育枠で実施する中高生対象のキャリア教育支援で大きな成果。

中高生の時にひとつむぎのプログラムに参加した大学生、社会人となり活躍。

コロナ禍で社会教育枠での活動ができず、学校教育（平和学習、探究学習）支援に軸足を移す。



沖縄県南風原町と連携した平和学習授業



徳島県青少年講座の運営

現在の取組2 一社)HLABと連携し徳島SDGsスタディツアーを開催

コロナ禍でZ世代間に生じた格差（都市部と地方、世代間）を是正するため、高校生と大学生が少人数で行うスタディツアーを一社)HLABと企画・運営。

牟岐町・海陽町＝食とSDGs、上勝町＝ゼロウェイスト をテーマに開催！



現在の取組3 デュアルフィールド(京都産業大学、大阪公立大学)

コロナ禍によって、牟岐町を訪問するのが難しくなったピンチを逆手にとり、牟岐町での活動に加えて、大学所在地で牟岐町を応援する取組を展開。

牟岐町の地域課題を都市部で解決を図るといふ、2つのフィールドを併走させるスキームを構築。



京都産業大学現代社会学部木原ゼミ

京都市西陣を拠点に、実生柚子を中心とした製品の販売や情報発信、次の100年フードを考える活動など

大阪公立大学経済学部松本ゼミ

大阪市天神橋筋商店街を拠点に、七夕祭、阿波踊、関西牟岐の日などのイベントにおいて、商店街との橋渡し役になりながら牟岐町を支援



現在の取組4 若者互助組織一〇八°

牟岐町出身、在住の若者5人が立ち上げた互助組織。

それぞれにプロジェクトの実現を目指しながら、壁打ち相手となって応援し合う。

牟岐町駅前の古民家を利用した不定期開店のカフェ（灯閑）、お寺の山門にあるアートギャラリー（遊観）、中学生対象の探究授業（牟岐みらい探究）などのプロジェクトが実現。



現在の取組5 うみのこてらす

牟岐町出身の大学生が中心になって、牟岐キャリアサポートの2年間の併走支援を経て独立。

「若者が自分らしく人生を描き、歩んでいる社会を日本の末端まで」が活動理念。社会の格差是正を目指し「子ども・若者の可能性を広げる活動」を展開



3つの活動を実施

- ①学校に行きずらい子の居場所
「われもこう」
- ②中高生のフリースペース
「ゆあぷれ」
- ③交流・つながりの場を提供する
「てらす食堂」

今後の展望 子ども、若者が日本一活躍できる町に

新型コロナ5類移行後、多くの若者が第2の故郷である牟岐町に戻ってきました。

初めはゼミや団体の活動で牟岐町を訪れた者が、個人単位で牟岐町を再訪、滞在するようになっていきます。



足掛け4年に及ぶコロナ禍で、少子高齢化は進み、都市部との格差はむしろ広がっています。地元・関係人口の若者の活躍を軸にして、地域に活力を与えていきます。